

平成 28 年 第 8 回 定例会議

教育委員会会議録

平成28年 10 月 20 日

羽島郡二町教育委員会

平成28年 第8回羽島郡二町教育委員会定例会会議録

平成28年10月20日(木) 午前10時00分から、岐南町中央公民館 1階 会議室で開催した。その要旨は次のとおりである。

1 本日の出席委員は、次のとおりである。

委員長	岩井弘榮
委員長職務代理	杉江正博
委員	久納万里子
委員	林潤美
委員(教育長)	宮脇恭顯

1 本日の説明のため出席した者は、次のとおりである。

教育長(再掲)	宮脇恭顯
総務課長	松原和成
学校教育課長	森透
社会教育課長	飯田潤子

1 本日の書記

総務課長(管理監) 松原和成

1 本日の議案は次のとおりである。

協議題

- 1) 平成27年度羽島郡二町教育委員会特別会計歳入歳出決算について
- 2) 羽島郡二町教育委員会表彰者の選考について
- 3) 次回教育委員会定例会議及び他市町村教育施設訪問の開催について
- 4) その他 市町村教育委員会連合会研究総会について

委員長 平成28年10月20日(木) 午前10時00分、岐南町中央公民館 1階 会議室で、平成28年第8回羽島郡二町教育委員会定例会議の開会を宣した。

議事日程により会期は本1日とする旨を会議に諮ったところ、異議なしと認め、会期は本日1日限りに決定した。

前回会議録の承認についての報告を求めた。

総務課長 前回会議録を朗読し報告をした。

委員長 同報告について質疑を求めたところ、質疑がなかったので「前回会議の承認について」は報告のとおり承認された旨を述べた。

つづいて、教育長の報告を求めた。

教育長 1. はじめに

次期の学習指導要領改訂に向けて整備が進んでいる。平成28年度内に答申、改訂作業を終了して平成29年度に周知徹底する計画で作業が進

められている。中央教育審議会内の教育課程部会で検討されているが、教育課程特別部会を設け、幼児教育、小学校、中学校、高等学校、特別支援部会の学校種別部会での検討を横軸にし、各教科等(国、社、外国語、算数数学、理科、芸術、家庭・技術家庭、体育・健康安全、道徳、生活・総合的な学習の時間、特別活動、産業教育に加えて、総則・評価、言語能力の向上、高等学校の地歴・公民科目のあり方、高等学校の数学・理科にわたる探求的科目のあり方、情報)の合計17のワーキンググループでの検討を縦軸にしてあり方が検討されている。幼・小・中・高の縦の一貫性、教科や領域の一貫性を整えるために幅広く意見を聞いているということだ。学校からの意見は土・日曜日でないで勤務に支障があるということで曜日に関係なく、場合によっては1日に複数の会が開催されている。

現在はパブリックコメントを得て、その反映について検討されている。今までの改訂作業になかったことだ。

すでにフィールドを2020年以降に設定して、二学期制の実施に合わせて考えてきた。毎年、たくさんの教職員が入れ替わることを前提にして、二学期制の実施が新しい学習指導要領の改訂に柔軟に対応できるようにしたい。

乗鞍青少年交流の家での研修が終了した。塾生が各学校で、研修の成果を生かして児童会・生徒会をリードしてくれることを期待している。実行委員さんをはじめ、教育委員会総出で研修のサポートに当たっていただけただけで本当に感謝している。交流の家では例年以上に多くのスタッフが塾生に指導をしていただいた。事前の研修会では反応が弱く、やや覇気のない姿が気になったが、途中での研修内容の変更などで、ほぼねらいが達成できたと感じている。交流をもとに自分たちの考えをまとめたり、今までなかった姿が見られたことはうれしかった。【資料】

後期がスタートして数日しか経っていないが、岐南中学校の部活動を短時間だが参観した。バスケット部の生徒のきびきびした練習風景、ハンドボール部のキャプテンの部員への大きな声での呼びかけ、サッカー部の新入部員を迎えての歓迎など動きはとても良かった。

リバーサイドカーニバル2016での笠松中学校の生徒のボランティアの姿が良かった。とりわけ町長が喜ばれたのは、観覧船のボランティアの中学生の、声をかけていたことだ。午前の最後に、松枝小学校の太鼓と下羽栗小学校の鼓笛隊の演技だった。松枝小の大変な量の太鼓の準備と撤収の手際の良さ、児童の演技が集中して行われたことに感心した。

スタートはうまく切れたようだ。

2. 特別支援教育担当指導主事の配置について【資料】

昨年度から、特別支援教育に関する事務が大変増加している。学校訪問をして教育指導の充実や教職員の資質向上に関する分掌については、ほとんど手付かずの状況である。特別支援教育に関しては教育支援委員会の充実と就学指導の円滑な推進、幼・小・中の切れ目のない支援

と、資料手と手を取り合っ」の有効活用、通常の学級に在籍する特別支援学級入級対象の児童の指導と通級指導の充実などが大きな課題である。

また、就学相談者数も第1回、第2回とも26人が対象で、相談担当者は、岐阜県発達支援センター、羽島特別支援学校、特別支援担当主幹、担当医師との日程調整や事前の資料整備なども大変な時間を要する。

羽島郡の特別支援教育は学級の経営をとっても大変充実しており、県下に誇れると思っている。なんとか、平成29年度配置を目指して特別支援教育担当指導主事の配置を実現させたい。

3. 学力・学習状況調査の結果の公表について【資料】

情報公開の時代にあって、教育委員会会議録を詳細にHPに掲載している。本年度4月に実施した学力・学習状況調査の結果について、学校の教職員、保護者、地域への公開をしたいと考えている。ご了解を得た後、HPへの掲載をしたいと考えている。

- ① 学力状況調査について
- ② 学力調査の問題について
- ③ 児童生徒質問紙について
- ④ 学校質問紙について
- ⑤ 児童生徒質問紙、学校質問紙の傾向について
- ⑥ まとめ

4. 新しい人事評価制度の導入について

平成9年度から自己啓発面談の実施と勤務評価に改善をして、教職員が自己啓発しながら資質向上を図る評価に改善を図ってきた。

平成29年度から新しい人事評価制度を、

- ① 能力評価と業績評価の両面による評価の実施
- ② 人事評価制度における管理職との面談の位置づけの明確化
- ③ 評価期間及び評価基準日の変更
- ④ 評価結果の開示

をポイントにして導入されることが決定された。その目的は、教職員の資質能力の一層の向上、学校の組織力の向上にあるという。

5. 教育委員会事務局職員について

教育委員会事務局の学校教育課職員は、学校教育の充実を図ることを分掌として、課長、主幹、指導主事2名で職務に当たっている。

特別支援教育の充実を分掌としている主任指導主事は「学力向上」「ICT整備」「不登校対策」と兼ねて担当している。特別支援に関わっては、「教育支援委員会」「教育専門委員会」「教育支援連絡協議会」「就学に係わる教育相談」などを兼務しており、「学力向上」、「ICT整備」「不登校対策」にあたっている時間的な余裕がなくなっている。

人事異動が激しく、毎年、若い教職員が転入し、その資質向上は学校

教育の向上には欠かせません。現在就学指導の相談会を行っているが、特別支援学級入級への指導が大変困難になってきていることと、通級指導教室入級希望の新就学時、在籍児童ともに増加しており、一層の対応が必要になっている。

1. 二学期制の充実と学習指導要領の改訂
 - ① 二町教育委員会の願い
 - ② 三者懇談(自分の努力や成長を自ら語る個別懇談の実施)
 - ③ 教職員の資質向上
 - ④ 社会に開かれた学校づくり(コミュニティ・スクールの整備)
 - ⑤ 立志塾の開催
 - ⑥ 次世を担う児童生徒の育成
2. 次世代に活躍できる児童生徒の育成(学習指導要領総則案)
 - ① 社会環境の変化と求められる人材像(科学技術・学術政策局基盤政策課)
 - ② 2020年以後の世界
 - ③ 教育の改善・充実を生み出すカリキュラム・マネジメント
 - ④ 3つの能力・12の要素
3. 次世代の羽島郡を担う児童生徒の育成(生徒指導の態勢から)

二学期制を導入して3年目を迎えた。次世代の岐南町・笠松町を担う児童生徒を育てるには、児童生徒が活動を通して、その結果や過程をふりかえり、認められ、納得してそれを自分のよさとし、それを土台として新たな目標をもち、根気強く自分やみなんと努力していくようなアクティブな学びが求められている。

 - ① やりたくないことを作らない。
 - ② 暴力を誰かから受けた経験のある子供は、先生は暴力をしないことを良く知っている。
 - ③ 学級に特別な集団を作らない。
 - ④ 保護者を子どもを育てる両輪だと共通理解を図る。
4. 個別懇談の充実(自分を語るができることをどのように保証するか)
 - ① 児童生徒に蓄えさせる具体的な資料
 - ② 客観的な資料の整え方
 - ③ 配慮すること
5. 新しい時代と社会に開かれた教育課程
 - ① 「学校」の意義
 - ② 社会に開かれた教育課程
 - ③ 社会に開かれた教育課程で大切にすること
 - ④ 改訂に向けての課題
 - ⑤ 人生を主体的に切り拓くための学び
 - ⑥ 学習プロセス等の重要性
 - ⑦ 資質・能力の要素
6. 地域の大人から学ぶことと子どものキャリア形成

- ① 学校の教育目標具現に生きる支援体制の整備(今後への期待)
- ② コミュニティ・スクールの効果的な運営のために
- ③ 一方通行でなく、積極的に地域の活動に出る機会を設ける。

7. 教職員の資質向上

- ① 羽島郡の教職員の現状と願い
- ② 教職員年齢構成に関する資料(全教職員)
- ③ 学校の教育目標を具現する校長の強い願いをもとに
- ④ 新たな教育課題に対応した学校の教職員全員がとりくむ教員研修
- ⑤ これからの教職員研修

以上を、定例会議資料P2～P12及び運営委員会資料P9～29を用いて説明した。

委員長
学校教育課長

特別支援教育指導主事の要望については、強く要望したい。

時期もあるが、教育支援委員会も含め、6月から11月まで残業している。学校の状況を見に行き把握するのは困難である。中身を充実していくには選任の先生が必要である。

杉江委員
教育長

当然必要だろうと思う。保護者と一緒に考えていただきたい。

丁寧に本人の状況も見てください、沢山の視点から就学先を決めるのではなく、合理的配慮で保護者が良いと言わないと決まらない。

委員長

特別支援教育のスタートラインにもなる。学校教育のそのものいろいろな意味が出てくる。ここは声を大にしてお願いしたいと思いますがよろしいですか。

久納委員

個別案件が色々あるので、特に特別支援関係は個別の案件が多いので要望したい。

教育長

発達障がいの子たちの充実のためには、専門的に知識を持った人が指導する。両町長さんにはお願いしてある。

委員長

その他、学力・学習状況調査の評価について何か質問等はありませんか。

教育長

学校と家庭との宿題との繋がりをうまく廻るようにしたいというのが一番の狙いである。

林委員

私の家庭では子供の宿題確認を高学年でも行っているが、低学年では、保護者が宿題を見守る形で参加する意義が広がっていないのが残念である。学年懇談会も見ていますと参加がすごく少ない共通理解を図る場所がない。

教育長

そのサイクルはきちんと何らかの形に整えなければならないと思っている。学校が丁寧に宿題を見てあげて、授業で行うと分かる。学校の先生方も宿題をその日教えた内容を繰り返した宿題にするよう指導する。

学校教育課長

宿題を出したのは学校が出したのだから学校が見るべきだという考え方もある。少し前はドリル3回回りがあったが、それは違う意味

で郡内でも減ってきた、何回ドリルを終えるかが目的ではなくて、復習してやり方を身に付けて自身に付けることが大事であることが浸透してきている。一緒にやって一緒に学習する習慣を身に付ける。

杉江委員

個別懇談の充実の話が出てきているが、二学期制にして保護者と学校との理解度は上がってきているのか。

教育長

意識は高まってきていると思うが、毎年、たくさんの教職員が入れ替わる中、大半が担任している。先生が意義を理解して学校全体に動いてくれることの差があるので難しい。ボランティアの意識・部活動の参加の意識・小学校から変わってこられた先生等の意識がチェンジすることは難しい。

委員長

学力・学習状況調査結果について、HPへの掲載を考えている。二町の場合は、生活状況調査も行われているので、これも併せて公開した方が良いのでは。

教育長

学力・学習状況調査も結果を入れて、公開しますが一度整頓し整える。

委員長

何か質問等はありませんか。

久納委員

立志塾研修はご苦労様でした。事前研修が8月には2回ありましたが知らなかったなので、来年度は案内等をしていただきたい。

委員長

何か質問等はありませんか。

林委員

発達支援の情報を継続的に共有したいので保護者の方へ教えていただければ、安心して通えるようになれば学校が安定になるのではないかとと思われる。

学校教育課長

教育支援専門委員会等の中で各園長及び小・中学校の先生も実際に保育園・幼稚園に出かけ子どもの様子を見に行っている。そこで、園長さんと話すことで、一層様子が分かる。一方通行では無いと思っているが、保護者の方の連携が難しい。

委員長

つづいて協議題に入る旨を述べた。

協議題1

平成27年度羽島郡二町教育委員会特別会計歳入歳出決算について、事務局に説明を求めた。

総務課長

運営協議会資料を用いて、平成27年度羽島郡二町教育委員会特別会計歳入歳出決算について報告する。

委員長

同報告について、質疑を求めたところ異議がなかったので、教育委員会の承認とした。

協議題2

羽島郡二町教育委員会表彰者の選考について、事務局に説明を求めた。

総務課長

資料2を用いて、羽島郡二町教育委員会表彰者の選考については、表彰候補者7名、表彰規則第2条第3号が6名（多年20年以上、委員会事務局及び委員会の所管に属する学校又は教育機関に勤務して成績優秀な者）及び表彰規則第3条第1号が1名（社会教育及び保健体育の振興発展に貢献してその功績顕著な者）である旨を説明した。

委員長

現の社会教育課職員が表彰を受けても良いのか。過去に受けられた

職員は入るのか。調べていただきたい。いれば教育委員会の承認とした。

協議題3

次回教育委員会定例会議及び他市町村教育施設訪問の開催について、事務局に説明を求めた。

総務課長

次回（第9回）教育委員会定例会議は11月25日（金）午後1時30分から岐南町中央公民館で開催することを確認した。

委員長

その他 市町村教育委員会連合会研究総会について、事務局に説明を求めた。

総務課長

11月11日（金）午前10時00分から加茂郡川辺町中央公民館で開催されることを確認した。

委員長

以上で、全議題の審議が終了したので、平成28年第8回羽島郡二町教育委員会定例会を閉会する。

以上

終了 午前11時55分

平成28年10月20日

委員長